

エコ フィーバーラック ツヤ有

エコ フィーバーラック 半ツヤ

エコ フィーバーラック ツヤ消

---

仕 様 書

---

和信化学工業株式会社

---

木工塗料事業部

---

平成 年 月 日

---

## エコ フィーバーラック ツヤ有・半ツヤ・ツヤ消

(環境対応 湿気硬化型ポリウレタン塗料)

本品は1液湿気硬化型ポリウレタン塗料で 巾木、階段、床等、住宅内装木部の塗装に最適です。速乾性でありますので、現場塗装用に使用した場合、作業時間の短縮につながります。キシレン、トルエン、ホルムアルデヒドは一切使用していない環境対応型の塗料です。

### § 特 長

- ・環境対応型で トルエン、キシレン、ホルムアルデヒド を一切使用していません。
- ・1液型で作業が簡単です。
- ・耐薬品性、耐水性等優れた塗膜性能をもっています。
- ・肉持ちのある仕上がりとなります。
- ・乾燥が早く、作業時間の短縮が可能です。

### § ホルムアルデヒド放散等級 F (日本塗料工業会登録 W01241)

F は建築基準法における屋内に面積の制限なく使用できる建築材料を示す規格です。

### § 塗料性状

粘 度 ;	20 秒 ± 2 秒	14 秒 ± 2 秒	14 秒 ± 2 秒	(フォードカップ 4 / 25 )
不揮発分 ;	42%	37%	35%	(計算値)
	(ツヤ有)	(半ツヤ)	(ツヤ消)	

### § 使用方法

本品は1液型ですので、適量のウレタンシンナーで希釈するだけでご使用できます。尚、湿気硬化型塗料ですので、空気中の湿気と敏感に反応してゲル化を起す場合があります。使用後の缶の密封は必ず行ってください。

### 【調 合 比】

エコ フィーバーラック	1 0 0
エコタイプウレタンシンナー	5 ~ 1 5

【希釈割合】ポリウレックスエコ 9350 シンナー ( 2 5 / フォードカップ )

0 % 添加時	2 0 秒 7	1 3 秒 3
5 % 添加時	1 7 秒 5	1 2 秒 2
1 0 % 添加時	1 5 秒 7	1 1 秒 6
2 0 % 添加時	1 3 秒 5	1 1 秒

( つやあり ) ( 半艶消・艶消 )

【乾燥性】 ( 5mil ドクターブレード 1 7 / 5 0 % )

指触乾燥 ;	3 0 分	3 0 分	4 0 分
指圧乾燥 ;	7 0 分	5 0 分	5 5 分

( つやあり ) ( 半艶消 ) ( 艶消 )

§ 塗膜性能

項 目	試験結果	条 件
耐酸性		5 % 酢酸水 スポットテスト 2 4 時間
耐アルカリ性		5 % 炭酸ナトリウム水 スポットテスト 2 4 時間
耐水性		水道水 スポットテスト 2 4 時間
耐アルコール性		6 0 % イソノール水 スポットテスト 2 4 時間
耐溶剤性		塗料用うすめ液 スポットテスト 2 4 時間
		キシレン スポットテスト 2 4 時間
耐マジック性		2 4 時間後 ベンジン拭き取り
耐クレヨン性		2 4 時間後 ベンジン拭き取り
耐インキ性		スポットテスト 2 4 時間
耐湿熱性		3 0 0 c c 沸騰水入りピーカー 1 時間放置
鉛筆硬度	H	ガラス板 5 ミル 2 0 1 週間養生

## § 塗装工程（例）

### 住宅内装木部塗装例

工 程	使 用 塗 料	塗布量(ml/m <sup>2</sup> )	乾燥条件
1.素地調整	P 1 5 0 サンドペーパーにてキズ、汚れを除去。		
2.下塗り	エコ フィーバーラック ツヤ有又はサテング シナー 1 0 0 エコタイプ ウレタンシナー 1 0	8 0 ~ 1 0 0	2 ~ 3 時間 ( 2 0 )
3.研磨及び除塵	P 3 2 0 サンドペーパーによる木のケバ立ちを取り除く為の入念な研磨作業。研磨粉の除塵。		
4.上塗り	エコ フィーバーラック ツヤ有、半ツヤ、ツヤ消 1 0 0 エコタイプ ウレタンシナー 1 0	7 0 ~ 8 0	3 ~ 5 時間 ( 2 0 )

条件によって塗布量や乾燥時間は変わりますので目安として下さい。  
シンナー希釈量は目安ですので、用途に応じて変更してください。  
ただし、希釈しすぎると塗膜の肉持ちが落ちますのでご注意下さい。

## § 注意事項

- 1 . 本品は空気中の湿気と敏感に反応してゲル化を起こす場合があります。  
従って1度開缶後は、できるだけ塗料を使い切るようにしてください。  
もし、使い残りがあった場合は、小さな缶等に移し替え、空気との接触を極力避けて下さい。  
(元の缶に戻すと 缶の中でゲル化が起きやすいのでやめてください。)
- 2 . 塗料の希釈は必ずウレタンシンナーをご使用下さい。  
(ポリウレックスエコ 9350 シンナー等)
- 3 . 漂白の後処理が不十分な素材への塗装は、塗膜が変色しますのでご注意下さい。
- 4 . 研磨工程後の研磨粉除去は丁寧に行い、すみやかに塗装工程に移ってください。
- 5 . 油変性1液型ウレタン塗料との組み合わせ工程はできませんのでご注意下さい。
- 6 . 1回での極端な厚塗りは、発泡やブラッシングの原因となる事がありますので  
ご注意下さい。
- 7 . 作業中や、養生の際は換気を良くして下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。